

『地域の教育力を生かし、豊かな人間性をはぐくむ教育活動の推進』

あま市立七宝中学校

1 目的

(1)

学年、学校行事への積極的な参加を通して、自他のよさを認め合いともに成長していこうとする豊かな心を育てるとともに、主体的に解決していこうとする態度を養います。

(2)

基礎学力の定着を図るとともに主体的に学ぶ意欲や態度の育成に努めます。

(3)

校外指導、あいさつ運動、リサイクルプロジェクト、地域行事への参加等を積極的に進め、学校・家庭・地域の相互理解の深化を図るとともに、地域の教育力を生かした活動を積極的に推進します。

(4)

全校生徒対象に「しっぴータイム」やハートヘルスタイト講演会を設け、自己を見つめる機会を設定するとともに、自己肯定感を育みます。また、授業力やいじめ、不登校への対応など生徒指導に関する教職員の資質向上を図ります。

2 内容

(1) ハートヘルスタイト講演会

10月17日(火)「手足のないチアリーダー」の著者として知られる佐野有美氏を講師に「私が夢を語るなら～どんな状況でも夢をもつ大切さについて～」を演題に、七宝北中学校と合同でハートヘルスタイト講演会を開催しました。佐野有美氏は、現在、トークライブや講演、テレビ、新聞とさまざまな活動を展開している方です。先天性四肢欠損症で生まれ、あるのは短い左足と3本の指のみです。体育館のフロアを自由に動き回りながら、笑顔を絶やさず明るく元気にお話をいただきました。講演では、何にでも挑戦し続けてきた佐野さんのあきらめない心を生んだエピソードをお話いただき、生徒の心を成長させていただきました。



【佐野有美 先生】

<生徒の感想>

- ・チャレンジすることのすばらしさを知りました。どんな状況でも、どんなことでもまず興味をもってやってみること、そして続けることが大切だと気がきました。
- ・物事は、できるかできないかではなく、やりたいかやりたくないか、自分で決めることだということを教えてもらいました。周りに言われることよりも自分の気持ちが大切であると思いました。
- ・いつも笑顔を忘れずに、めんどくさいで始めず、楽しもう！で始めて、前向きに生活していきたいと思いました。
- ・家族がいたから自分が生まれ、友達がいたから毎日笑顔で過ごせてこれたと心から思いました。



【講演後には生徒全員と握手】

(2) 命の授業

2月1日(木) 5、6時限に、咲江レディースクリニック院長 丹羽咲江先生を講師に「恋をしていてもいなくても聞いてほしい話」というテーマで「命の集会」を開催しました。デートDV、性行動のルール、性感染症のことなどを分かりやすく話していただきました。最近ではSNSを介した小中高生の性被害もたくさん起こっています。中学2年生のこの時期に性について正しく理解することの大切さを感じました。



【丹羽咲江先生】

< 生徒の感想より >

- ・ 命や性についての話を聞いて、相手を大切に、自分も大切にする関係という言葉が印象的でした。
- ・ 今日の話聞く前は、性に対してよいイメージはありませんでした。でもこの集会後、性に対してのイメージががらりと変わりました。前から他人事ではないとは思ってたけれど、もう考えなくてはいけない年齢なんだとさらに実感でき、この会の大切さに気付きました。
- ・ 命の集会では、映像を見せてくれたり、病気が感染する恐ろしさの実験をしてくれたりしてとても分かりやすかったです。この集会で性へのイメージが変わりました。
- ・ 今日の授業で命についてたくさんのことを学びました。親が産んでくれたことを感謝して生活しないといけないと思いました。
- ・ 命や性についてはじめて知ることが多かったのでいい勉強になりました。特に女性のことについて話を聞く機会がなかったので今日話を聞いて、男性とずいぶん違うことが分かりました。

(3) しっぴータイム

今年度は、他者と関わりながら、よりよい人間関係をつくるためのコツや技術を習得させるとともに、自尊感情(自己肯定感・自己有用感)を高めることを目的として、ソーシャルスキル・トレーニングと構成的グループ・エンカウンターを組み合わせた活動『しっぴータイム』を週時程に位置付け行いました。新学習指導要領でも各教科の「見方」「考え方」を重視するための対話的な学び合いが大切と言われています。そこで授業において学び合う生徒の育成『しっぴートーク』に発展させ、授業を通してさらに自尊感情(自己肯定感・自己有用感)を高めるとともに、各教科の授業でねらいにせまる対話的な学び合いの場としての活用を行いました。

(4) リサイクルプロジェクト

生徒や地域の方々が、各家庭の多くの新聞、雑誌、ダンボール、アルミ缶、牛乳などの紙パックなどリサイクルできるものを持ち寄り、業者に売却し、その収益金であま市社会福祉協議会へ寄贈する運動に取り組んでいます。この活動を通して、環境問題・社会問題に目を向ける機会としています。

(5) 基礎学力の向上

今年度は、問題データベースを活用し、授業のはじめに継続的に活用することで、基礎学力向上につなげることができました。普段の勉強には自分から取り組むことが苦手な生徒が、この小テストについては進んで学習に取り組み、学習への意欲を増すことができました。

(6) 異年齢集団の編成（縦割り）による学校祭

9月14日の体育祭では、夏休みから練習をはじめたブロックパフォーマンスやブロック対抗競技等が行われました。9月15日の文化祭では、午前中に合唱コンクール、午後は吹奏楽部演奏、有志発表等が行われました。本校の学校祭は、毎年、全校を縦割りにしたブロック制で行って



【学校祭テーマ 常笑志高】

ます。両日ともに5つのブロックが優勝を目指し、ともに認め合い、励まし合いながら、熱い闘いを繰り広げました。また体育館のステージには縦4m×横10mの全校生徒が取り組んだモザイク画が掲示されました。生徒たちが互いの友情を深め、団結してみんなで感動あふれる学校祭をつくりあげることができました。

(7) 指導力の向上

今年度、教職員の指導力向上を図るため、名城大学 曾山和彦先生を講師に招き、生徒の自尊感情（自己肯定感・自己有用感）を高めることをテーマとした現職教育を4月と11月に行いました。他者と関わり合いながら自尊感情を高めよりよい自己実現を目指して主体的に学ぶことができる生徒の育成のための曾山先生に本校の取組を参観していただき、それに基づき指導していただき、本校の今後、目指すべき方向性を示唆していただきました。

3 評価

- ・ ハートヘルスタイム講演会、しっぴータイムに取り組み、生徒の自尊感情、自己肯定感、他者理解の意識が高まりました。授業においても話し合い活動が活発に行われるようになってきました。
- ・ 命の集会を通して、生徒の多くが性に対して、イメージが変わったと事後の感想で述べ、相手と自分を大切にすることを学び、親への感謝の気持ちをもつことができました。
- ・ 毎月1回行われているリサイクルプロジェクト（古紙回収等）は、生徒や地域に浸透し、環境問題や社会福祉に対する意識が高まっています。
- ・ 体育祭における縦割りブロック活動は、生徒創作によるブロックパフォーマンス、ブロック合唱を通して上級生がリーダーシップをとり、下級生を指導し、教え合い協力する姿が多く見られました。
- ・ 学校だよりを地区ごとに回覧していただき、より読みやすい紙面で学校の様子を地域に提供することができました。

4 課題

- ・ さらなる基礎学力の充実をどのように進めていくか。
- ・ 自尊感情を高め、主体的に学ぶ生徒を育てるための「しっぴータイム」、授業のねらいにせまるための効果的な話し合い活動「しっぴートーク」を取り入れた教育活動をどのように充実させ進めていくか。
- ・ 教職員の指導力向上のための研修時間をどう生み出し、講師をどう確保していくか。